

【イベント名】

# 令和6年度いきいきキャリアアップ事業in利府町

## キャリアを振り返る～地域で活躍する女性たちの物語～

【開催概要】

開催日	時間	場所	参加人数
令和7年1月21日（火）	13:30～16:30	利府町役場庁舎内 町民交流館研修室	21名
主催 宮城県 共催 利府町			

### プログラム

13:30～	開会 主催者挨拶 宮城県環境生活部 大沼 史柄 氏
13:40～	第一部 「ゲストトーク」
14:40～	質疑応答
14:50～	休憩
15:00～	第二部「ワークショップ」
16:25～	アンケート記入
16:30	閉会

### ゲスト



#### 一般社団法人larugo 代表理事 大宮 紗妃 氏

（略歴）山形県出身。大学卒業後販売業に勤しむ一方で、「手に職を」とフラワーアレンジメントを習う。利府町に移住後、子育てを経て手仕事の世界へ再度チャレンジ。「Carlottaカルロッタ」という屋号でレジンアクセサリーを製作・販売。利府町の起業支援施設、利府町まち・ひと・しごと創造ステーションsumikiと出会い、「こ・あきない市」や「もくようマルシェ」などに出演。2018年からsumikiコーディネーターとしてイベント企画・運営に携わる。2024年4月一般社団法人larugoを設立し、その経験とクリエイターとの繋がりからイベントやweb事業を展開している。

### 第一部「ゲストトーク」

#### 「自由な心で紡ぐライフスタイル～一人ひとりが輝くために～」

一般社団法人larugo 代表理事 大宮 紗妃 氏



「自由な心で紡ぐライフスタイル～一人ひとりが輝くために～」と題し、これまでのキャリア形成や、現在の仕事に対しての思いなどについてお話をしました。

大宮さんは、大学生のとき販売のアルバイトを始め、大学4年には店長に任命され、新店舗の立ち上げや新人教育など、大学生のうちから社会経験をすることができ、卒業後そのまま就職しました。

結婚を機に利府町へ転居し、専業主婦という慣れない環境で体を壊したため、環境を変えようとアルバイトを始めました。社会に出て新しい人と知り合う中で自分の考えがまとまり、家族の理解と自分ができる範囲のバランスをみながら、やりたいこと＝レジンアクセサリー作家をスタートさせることにしました。

ものづくりを始めたころ、町内の回覧板で起業支援施設sumikiに出会い、「第1回目こ・あきない市」に出演しました。

その後「こ・あきない塾」にも参加し、sumikiのコーディネータースタッフとなり、起業したいという相談を受けたことをきっかけに、自分も個人事業主になられたそうです。

tsumikiを卒業後、同じような課題を抱える方と一緒に仕事がしたいと考え、違う分野の4人のプロと一般社団法人larugoを設立しました。larugoは「地域のクリエイターと共に」をキャッチフレーズとして、地域で働く作家、アーティスト、市民活動団体、地域のお店などとゆるやかにつながり、自身の表現の場や仕事を一緒に生み出していくお助け法人という役割でありたいと考えています。

現在はイベント企画や運営など、つながりを持つ方と一緒に取り組んでいます。

今後は、体制を強化しつつコンテンツを広げていき、2027年までには軸となる事業を育てて、拡大していきたいそうです。

最後に、「多くの話を聞くこと、目の前のことに真摯に真摯に取り組むことを大事にしていきたい。そして、誰かの役に立つことができる活動を行うことで、その輪が広がり、地域や人生が豊かになるよう続けていきたい。」とお話いただきました。

### 第二部「ワークショップ」

テーマ：キャリアについて考える ファシリテーター：一般社団法人マジカル・ステップ 代表理事 川田 マキコ 氏

グループでワークシートを使用しながら、「これまでの棚卸」、「これからのキャリア」を考えるワークを実施。自己紹介後、「これまでの棚卸」（何歳くらい・その時の仕事や家事、町内会の活動などの経験・その経験から得た知識や能力）をワークシートに記入し、自分自身を振り返りました。

記入した内容について一人ひとり発表し、グループの方から共感や長所のフィードバックを受けました。

その後、「これからのキャリアを考えるワーク」（ありたい姿になるための目標の設定：いつまでに何を始めるか）を具体的に記入し、前半と同じように発表・フィードバックを行い、それぞれが気づいたことを記入しました。

多くの方が初対面でしたが、積極的に意見を交わしている様子が見られました。

（感想）※アンケートより抜粋

- ・自分のキャリアを話すだけではなく、グループの皆さんのキャリアを聞くことができ、とても楽しかったです。
- ・自分を振り返る事の大切さを知るチャンスになった。
- ・みなさんの目標を聞いてワクワクしました。
- ・紙に書き出すことで腑に落ちることがありました。それを共有する(話を聞いてもらう)ことで、自分の気持ちがわかってくると思いました。

